



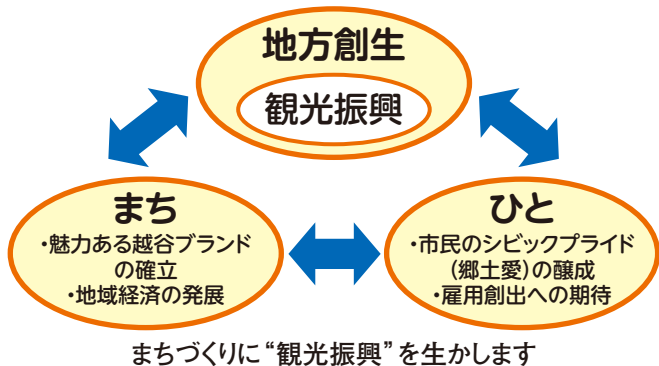
越谷特別市民
ガーヤちゃん

お知らせ版

今号の主な内容

- 歯と口の健康週間……………2
- 下水道使用料を改定します……………2
- 第6次越谷市行政改革大綱と
実施計画を策定……………3
- 平成27年度下半期 市の財政状況……………4
- 国保特定健康診査・後期高齢者健康
診査を受診しましょう……………5
- 第27回こしがや薪能……………8

発行／越谷市 ☎343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷4-2-1 ☎964-2111(代表) ☎965-6433
www.city.koshigaya.saitama.jp *広報紙は市ホームページからもご覧になれます 編集／広報広聴課



市の観光振興は、第4次越谷市総合振興計画において、「にぎわいと活力を創出する商業・観光の振興」を施策の一つとして、新たな観光資源の創出を推進してきました。

市では急速な高齢化が進んでいます。また、将来人口は、平

住んでよかった 訪れてよかったまちへ



市では、観光振興による地域の魅力や活力の向上を目指し、平成28年度～32年度の5年間を計画期間とする「越谷市観光振興計画」を策定しました。

「人と水と緑を結ぶ スマイル創造・交流タウンこしがや」を将来像とし、6つの基本方針を掲げ、こしがやに住む誇りとこしがやを訪れる喜びが実感できる観光によるまちづくりに取り組みます。

越谷市観光振興計画を策定 観光のまちづくりに 取り組みます

地域で暮らす住民や地域を訪れる多様な人が、5本の一級河川などの豊かな水辺空間や郊外に広がる田園風景を背景に、歴史・伝統・文化・食などの地域資源でつながり、地域に誇りや愛着を持つこと

越谷市観光の将来像を
人と水と緑を結ぶスマイル創造・
交流タウン「こしがや」とします

で、たくさん笑顔であふれるまちをつくりまします。

さらには、人々が出会い、交流し、それぞれの魅力を発揮することで、にぎわいを創出する活力ある「こしがや」を目指します。

成33年をピークに徐々に減少すると予測されており、やがてくる人口減少社会が及ぼす労働力不足などで地域経済の縮小が懸念されています。このような状況の中で、観光振興は、地方創生の施策の一つとして、交流人口を拡大させ、地域活性化の原動力となり、幅広い産業に経済効果をもたらすとともに、多くの雇用を生み出す分野として期待されています。

このたび、平成28年度～32年度の5年間を計画期間とした「越谷市観光振興計画」を策定しました。都内からのアクセスの良さや越谷レイクタウンの年間5000万人を超える交流人

越谷市観光振興の6つの基本方針

- ①観光資源のブラッシュアップ**
市内の観光資源に新たな価値を加え、見せ方を工夫するなど、ふだん得ることのできない時間や空間を提供し、人を外から引きつける魅力の向上を図ります。
 - ②イオンレイクタウンや地域産業を生かした取組の推進**
市内には年間約5000万人が訪れる大型商業施設のイオンレイクタウンや首都近郊の地理的特性を生かした農業など、観光資源としても価値ある産業があります。これらを観光の視点で生かします。
 - ③新たな魅力の創造と観光基盤の整備**
市内に数多くある知られていない地域資源(地域のネタ)を
 - ④観光を核としたブランドプロモーションの推進**
SNS(インターネット上の交流を通じて社会的ネットワークを構築するサービス)を活用したPR戦略や越谷特別市民「ガーヤちゃん」、こしがやブランド認定品の活用など、市のイメージ向上につながるブランドプロモーションを推進します。
 - ⑤訪日外国人旅行者の誘客と広域観光の推進**
年々増加している訪日外国人
 - ⑥シビックプライド(郷土愛)の醸成と観光人材の育成**
市内には「越谷」といえば〇〇というものが乏しく、市民の観光の意識は高いとはいえません。市民が地域をよく知ること、愛着を持ち、誇りを持つことで、愛着を持ち、誇りを持つシビックプライド(郷土愛)の醸成を図ります。また、持続的に観光に取り組む人材の育成とおもてなし力の向上に取り組みます。
- *本計画の詳しい内容は、情報公開センター(本庁舎2階)、市ホームページからご覧になれます
- 問観光課 ☎967-1133



*4月の交通事故640件 死者2人 負傷者105人
*4月の火災4件 救急出動回数1,159件